

5月の新着本

5月11日(土) 貸し出し開始

【一般図書】

| | | |
|-----------------------------|----------|--|
| こうして誰もいなくなった | 有栖川 有栖 | 孤島に招かれた10人の男女、死刑宣告から始まる連続殺人。有栖川有栖があの名作「そして誰もいなくなった」を再解釈し、大胆かつ驚きに満ちたミステリに仕上げた表題作を始め、デビュー30周年を飾る極彩色の作品集。 |
| 不死鳥少年 【今月のスタッフおすすめ本】 | 石田 衣良 | 「アンダイング＝不死身」とあだ名をつけられた日系2世の少年・時田武14歳。母・君代と家族を率いて、炎そのものとなった街を駆ける。父の国に爆撃され、母の国を命がけで走った少年の物語。 |
| 髪結百花 | 泉 ゆたか | 遊女に夫を寝取られ離縁したばかりの梅は、生家に戻って髪結の母の手伝いを始める。心の傷から、吉原で働く女たちと距離を置いていたが、少しずつ生氣を取り戻していき…。吉原を舞台に、女の生き様を描いた人生讃歌。 |
| 姑の遺産整理は、迷惑です | 垣谷 美雨 | 姑が亡くなり、住んでいたマンションを処分することになった。嫁である望登子はなんとか自分で遺品整理をしようとするが、あまりの物の多さに立ちすくむばかり…。誰もが直面する問題をユーモラスに描いた長編小説。 |
| 機捜 235 | 今野 敏 | 渋谷署に分駐所を置く警視庁第二機動捜査隊の高丸の新しい相棒が着任した。それは白髪頭のどう見ても定年間際の男・綿長だった。心の中で溜め息をつく高丸だったが、綿長は苦労を重ねた、思いがけない実力を秘めた刑事だった。第一人者が放つ二人組刑事小説。 |
| もの忘れ外来 | 佐野 香織 | 「もの忘れ外来」—そこは、孤独や不安が明日への希望に変わる場所。認知症の不安を抱く人々が訪れる「もの忘れ外来」を舞台に、看護助手・奈美の葛藤と成長を描く、感動の医療小説。 |
| 悲願花 | 下村 敦史 | 両親の起こした火事でひとり生き残った幸子。子供たちを乗せた車で海に飛び込み、生き残ってしまったシングルマザーの雪絵。被害者と加害者の思いが交錯した時、衝撃の事実が明らかになる…。 |
| 府中三億円事件を計画・実行したのは私です。 | 白田 | 1968年12月10日に東京都府中市で起きた『三億円事件』。「その犯人は、私です。」今年8月、突如インターネットサイトに投稿された小説によって、日本中が話題騒然となった。あの日、何があったのか——。 |
| 宝島 | 真藤 順丈 | 英雄を失った島に新たな魂が立ち上がる。固い絆で結ばれた三人の幼馴染み—グスク、レイ、ヤマコ。生きるとは走ること、抗うこと、そして想い続けることだった。少年少女は警官になり、教師になり、テロリストになり、同じ夢に向かった。 |
| 東京輪舞 | 月村 了衛 | かつて田中角栄邸を警備していた警察官・砂田修作は、公安へと異動し、時代を賑わす数々の事件と関わっていくことになる。ロッキード、東芝COCOM、ソ連崩壊、地下鉄サリン、長官狙撃……。 |
| 新章 神様のカルテ | 夏川 草介 | 信州にある「24時間365日対応」の本庄病院に勤務していた内科医の栗原一止は、より良い医師となるため信濃大学医学部に入局する。消化器内科医として勤務する傍ら、大学院生としての研究も進めなければならない日々も、早二年が過ぎた。 |
| スケルトン・キー | 道尾 秀介 | 週刊誌記者のスクープ獲得の手伝いをしている僕、坂木錠也。この仕事を選んだのは、スリルのある環境に身を置いて心拍数を上げることで、自分の狂気を抑え込むことができるからだ。最近、まともな状態を保っている。 |
| 断捨離したいナンバーワン、それは夫です | やました ひでこ | 断捨離とは、自分と、モノ・コト・ヒトの関係性を問い直すこと。人を捨てようとするものではありません。けれど多くの妻たちが、じつは夫を断捨離したいと、心の奥で思っていることは確かです。 |

☆ NHKテレビテキスト「きょうの料理 5月号」は閲覧できます。

☆ 児童図書・絵本は、別途掲示しています。

なお、6月新着本は貸出日(6月8日)から貸出いたします。